

弘前大学太宰治記念「津軽賞」 第5回地域探究論文高校生コンテスト 募集要項

【趣旨】

太宰治（津島修治）は、弘前大学の前身の一つ、旧制官立弘前高等学校を卒業しました。彼の中期の佳品として知られる小説「津軽」（1944 年）は、戦局が悪化する中、大人になった著者が出身地を訪れた、という体裁で書かれていますが、地域の地理、人物、社会への卓越した観察眼と、人間に対する深い洞察にもとづいて編まれており、優れた地誌、地域論として読むこともできます。

弘前大学は、太宰治のこの事績を記念して、高校生を対象とした地域探究論文コンテストを創設し《太宰治記念「津軽賞」》と名付け、高校生の皆さんが自らの地域を探究する活動を奨励しています。

第5回の募集を、2026年(令和8年)9月から開始します。下記の要領に沿って応募してください。

1. 応募資格

日本国内の高等学校に在籍する高校生（学年は問いません）

2. 募集部門

個人・グループの2部門に分けて小論文（日本語に限る）を募集します。各部門の規定字数は以下の通りです。

個人部門	独創的な地域論・地域提案で、自分の力を試してみよう	1,200 字以内
グループ部門 (3人以内)	「総合的な探究の時間」のチャレンジ目標として、グループで応募してみよう	2,000 字以内

※写真・図・表の掲載は2点までとし、上記の字数制限には含めません。

※グループ部門に応募する高校生は、原則として同じ高等学校に在籍することとします。

3. 小論文のテーマ・応募分野

自らの地域についてオリジナルな視点で研究し、既定の字数以内で表現した小論文を募集します。下記の応募分野を参考にテーマを設定し、研究を進めてください。なお、審査の進

行上、応募の際は応募分野を明記してください。

◇応募分野 1 「歴史・文化・社会」

◇応募分野 2 「技術・環境・食」

◇応募分野 3 「ライフ・健康・教育」

4. 賞の内容

各賞	個人部門	グループ部門
津 軽 賞 (最優秀賞) 各部門1点	・賞状 ・副賞(図書カード 3万円分) ・記念品 (弘大グッズ、太宰クリアファイル) ・弘前大学ツアー招待	・賞状×人数分 ・副賞(図書カード 3万円分) ・記念品 (弘大グッズ、太宰クリアファイル) ×人数分 ・弘前大学ツアー招待
優 秀 賞 各部門3点 〔分野毎に決定〕	・賞状 ・副賞(図書カード 1万円分) ・記念品 (弘大グッズ、太宰クリアファイル)	・賞状×人数分 ・副賞(図書カード 1万円分) ・記念品 (弘大グッズ、太宰クリアファイル) ×人数分
佳 作 各部門6点程度	・賞状 ・記念品 (弘大グッズ、太宰クリアファイル)	・賞状×人数分 ・記念品 (弘大グッズ、太宰クリアファイル) ×人数分
特 別 賞 (審査員賞) 3点程度	・賞状 ・記念品 (弘大グッズ、太宰クリアファイル)	・賞状×人数分 ・記念品 (弘大グッズ、太宰クリアファイル) ×人数分

※ 参加者全員に参加賞として記念品(特製太宰クリアファイル)を進呈します。

※ 応募状況によって、各賞の受賞者数は変動することがあります。

〔賞の発表方法〕

各賞の結果発表については、弘前大学のホームページに「氏名・高等学校名・学年・小論文のタイトル等」を掲載するとともに、受賞者には、在籍する高等学校を介して、結果を通知します。また、各賞の発送も受賞者が在籍する高等学校に行います。

〔賞の結果発表時期〕

令和9年1月(予定)

5. 募集期間

令和8年9月1日(火)～令和8年10月31日(土)

※弘前大学ホームページの応募フォームにより応募を受け付けます。

(URL: <https://tsugarusho.hirosaki-u.ac.jp/>)

6. 小論文審査

(1) 審査員

- 審査委員長 高瀬雅弘（副学長）
- 第2次審査委員 飯島裕胤、出 佳奈子、黒瀬 顕、藤崎和弘、川端二功
- 第1次審査委員 各学部・研究科等から選出の本学教員

(2) 審査のポイント

次のような論文を高く評価します。

- a. 地域やテーマについて十分に調べられている論文
- b. 研究方法や結論に至るプロセスが創意に富んでいる論文
- c. 論理的に主張が述べられている論文
- d. 独創的でユニークな視点あるいは提言がある論文

(3) 審査方法

2段階で審査を実施します。

〔 第1次審査 〕

弘前大学の教員が審査を行い、応募分野（個人、グループ）毎に第1次審査通過小論文を選出します。

〔 第2次審査 〕

第1次審査を通過した小論文から、第2次審査委員が審査を行い、各賞を決定します。

7. 応募の留意事項

- (1) 応募する小論文はオリジナル作品とします。また、他のコンテスト等と重複して応募した小論文や過去に他で受賞された小論文の応募は対象外となることがあります。
- (2) 小論文の著作権は応募者に帰属しますが、ホームページ掲載や出版等のため主催者が無償で利用することを予め認めるものとします。
- (3) 応募にあたって、文献・論文、新聞・雑誌記事、インターネット、講演など第三者の研究・著作物を参考にした場合は、「参考文献欄」に出典を必ず明記してください。また、応募者自身の過去の作品などを参考にした場合も、同様に明記してください。不備がある場合は、主催者協議の上で審査対象外とすることや、審査結果発表後でも受賞を取り消すことがあります。
- (4) 応募後は、小論文の修正等は出来ません。
- (5) 調査などの手段として生成 AI（例：ChatGPT、Gemini など）を活用することは可能ですが、生成系 AI が生成した文章や図表による小論文の応募は認めません。調査などの手段として生成系 AI を活用した場合は、「参考文献欄」に使用したツール名を記載してください。
- (6) グループ部門の場合は、応募様式に全員の「氏名・学年」を記載し、代表者に「◎」を付けてください。必要事項が正しく記載されていない場合や、正しく小論文が添付されていない場合は、選考外となり、参加賞が進呈されないことがあります。
- (7) 賞品は予告なく変更される場合があります。

8. 応募方法等について

- (1) 応募期間中に弘前大学ホームページの「応募フォーム」に必要事項を入力してください。
- (2) 小論文の原稿は、PDF データ（サイズは5MB 以下）に変換し、「投稿フォーム」から応募してください。PDF データ名は、「氏名（半角英字）（例）HirodaiTaro.pdf」としてください。
- (3) 個人情報保護の観点から、応募者の応募内容は、「弘前大学太宰治記念 津軽賞」に関連する目的以外で用いることはありません。
- (4) 審査についての個別のお問い合わせには応じかねます。

〔学長からのメッセージ〕

弘前大学は、県庁所在地ではない都市名を冠する唯一の国立総合大学で、5 学部（人文社会科学部、教育学部、医学部、理工学部、農学生命科学部）に、多種多様な研究分野を有しています。そして、「世界に発信し、地域と共に創造する」というスローガンのもと、地域貢献のみならず、世界にも通用する教育研究活動を展開しています。

高校生の皆さんにも、地域から世界に目を向けて、様々なことに興味を持っていただきたいと考え、弘前大学では、「地域探究論文高校生コンテスト」を実施し、高校生の皆さんの自由な発想による研究をまとめた小論文を募集することにしました。

高校生の皆さんが自らの地域を研究するとき、「着眼点」「考えるプロセス」「表現」は、人それぞれ異なるはずです。グループ研究でも、得意な「役割」もそれぞれ異なるでしょう。皆さんの「個性」が端的に表出される探究学習を通じて、自分が本当にやりたいこと、学びたいことに気づくはずです。

弘前大学は、この探究学習が皆さんの一生の財産になると考えます。高校生の皆さんのご応募をお待ちしています。

弘前大学長 福田 眞 作

《照会先》 弘前大学 太宰治記念「津軽賞」事務局

〒036-8560 青森県弘前市文京町1

TEL : 0172-39-3012 FAX : 0172-37-6594

E-mail : tsugarusho@hirosaki-u.ac.jp URL : <https://tsugarusho.hirosaki-u.ac.jp/>